

# 「富士見市児童生徒の体力について」 ～総合教育会議～



令和4年12月20日

富士見市教育委員会

矢場 友道



# 本日の流れ

---

- 1 富士見市の体力の現状
  - (1) 新体力テストの結果
  - (2) 富士見市の体力における課題
- 2 現在の取組
- 3 取組についての検証
- 4 指導上の課題
- 5 今後の取組



# 1 体力の現状

## (1) 新体力テスト※

### A+B+Cの児童生徒の割合

※ 文部科学省が実施する体力・運動能力調査。各調査項目を点数化し、合計点数によりA～Eの5段階で評価するもの

(参考) 評価基準表

	A	B	C	D	E
小学校5年生	65点以上	58～64点	50～57点	42～49点	41点以下
中学校2年生	57点以上	47～56点	37～46点	27～36点	26点以下

8種目のテストを実施し、各テスト結果を10点満点で換算

合計80点満点で上記基準表に基づき、A～Eの評価を判定

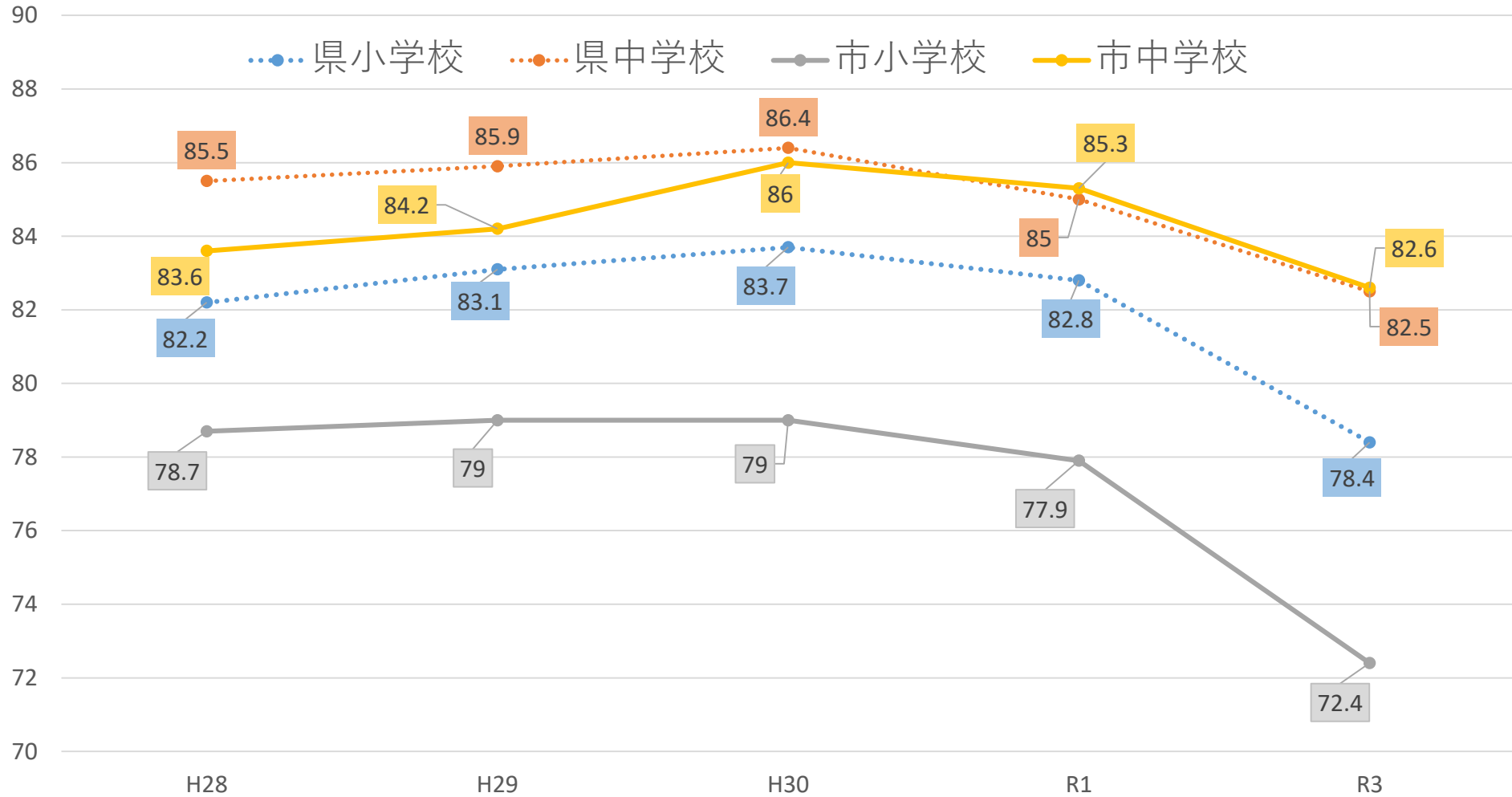
# 【新体力テスト 富士見市児童生徒平均値（令和3年度）】

種目	学年	小学校5年生		中学校2年生	
	性別	男	女	男	女
握力 (kg)	市平均	○16.25	15.88	28.61	○24.17
	県平均	16.28	16.29	29.48	24.36
	全国平均	16.22	16.09	28.78	23.38
上体起こし (回)	市平均	○20.33	○19.18	○27.38	○25.05
	県平均	20.89	20.19	28.59	25.53
	全国平均	18.89	18.07	25.89	22.22
長座体前屈 (cm)	市平均	○33.90	○38.22	○46.41	○49.25
	県平均	35.00	39.89	48.04	50.55
	全国平均	33.49	37.92	43.58	46.20
反復横とび (点)	市平均	○40.52	○38.75	○51.42	○46.85
	県平均	42.80	41.09	52.32	47.43
	全国平均	40.36	38.73	51.17	46.25
持久走 (分、秒)	市平均			◎6.18	◎4.41
	県平均			6.29	4.46
	全国平均			6.47	4.58
20mシャトルラン (回)	市平均	○48.76	○39.95		
	県平均	52.17	43.79		
	全国平均	46.85	38.16		
50m走 (秒)	市平均	○9.43	○9.63	◎7.75	◎8.66
	県平均	9.34	9.53	7.90	8.70
	全国平均	9.45	9.64	8.01	8.88
立ち幅とび (cm)	市平均	○153.50	○147.85	◎207.29	◎176.50
	県平均	155.29	150.05	200.64	173.70
	全国平均	151.43	145.22	196.31	168.00
ボール投げ (m)	市平均	○19.80	13.14	◎23.08	◎14.76
	県平均	19.78	13.40	21.14	13.72
	全国平均	20.58	13.30	20.24	12.64



「◎」 全国平均及び県平均の記録を上回るもの  
 「○」 全国平均または県平均の記録を上回るもの

# A+B+Cの児童生徒の割合



【R2:新型コロナウイルス感染症の影響により未実施】



# 1 体力の現状

---

## (2) 富士見市の体力課題

**敏捷性**

(指標: 反復横跳び)



# 1 体力の現状

## (2) 富士見市の体力課題＝**敏捷性**

---

### 敏捷性とした理由

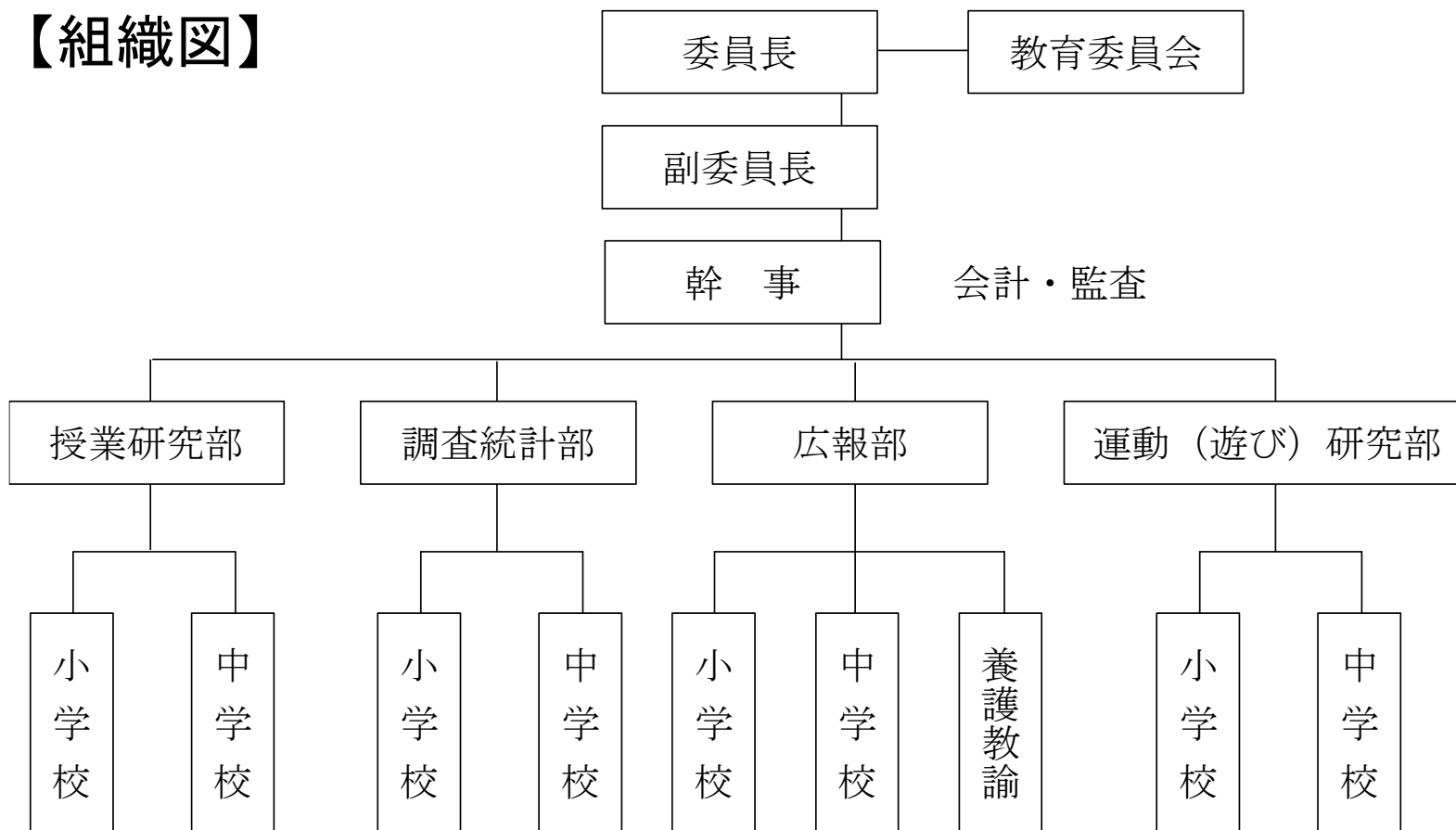
- ・全てのスポーツに対する能力向上につながる
- ・敏捷性を高めることにより、その他の新体力テストの項目の結果の向上にもつながる(50m走、立ち幅跳び※瞬発力との関連)

## 2 現在の取組



### 富士見市児童生徒体力向上推進委員会

#### 【組織図】







## 2 現在の取組

- ・体育授業導入時の補強運動
- ・富士見スタンダード(資料2)
- ・パワーアップチャレンジ(資料3)
- ・体力向上計画(資料4)
- ・縄チャレ(資料5)
- ・広報「いきいき体力」(資料6)
- ・授業研究会(R4みずほ台小学校)
- ・体育実技講習会



# 授業研究会 (R4みずほ台小学校)



体力向上のための方策  
について協議

# 実技講習会

毎年、敏捷性を高める運動(遊び)についての実践的な研修を実施



効果的な運動(遊び)の研究



### 3 取組についての検証

---

- 各校において、体力向上に取り組んでいるが伸び悩んでいる。
- 県内の運動が好きな児童生徒の割合が例年全国平均を下回っている。(次ページ参照)
- 今後、改めて全校への取組に対する共通理解の徹底を図り、強化して継続することが重要。

# 運動が「好き・やや好き」の割合

※市の独自調査は未実施のため、埼玉県と全国の比較を掲載

【全国体力・運動能力・運動習慣等調査】

	H29	H30	R1	R3	H29⇒R3
小5男(県)	92.4	92.2	92.2	89.7	-2.7
小5男(全国)	93.3	93.0	93.3	91.0	-2.3
小5女(県)	86.3	85	86.6	82.5	-3.8
小5女(全国)	87.4	86.4	87.6	83.7	-3.7
中2男(県)	87.1	86.4	87.2	85.0	-2.1
中2男(全国)	88.7	88.8	89.4	87.5	-1.2
中2女(県)	77.5	76.5	78.1	73.1	-4.4
中2女(全国)	78.5	78.9	79.2	75.5	-3.0

【R2:新型コロナウイルス感染症の影響により未実施】



## 4 指導上の課題

---

- ・教員の指導力(特に若手)
- ・コロナ禍における運動量の低下



# 教員指導力の向上



よい授業とは～新体育科指導法事典より～

- ①動きのよさと努力を認める
- ②少しの伸びも見逃さずほめる
- ③上手、下手を区別しない
- ④新しい動きは繰り返す
- ⑤長話は禁物、要点を的確に
- ⑥毎時のめあては新鮮に  
同じ内容でも角度を変えたり、場面をちょっと工夫して活性化を
- ⑦低学年は徐々に鍛える
- ⑧授業のきまりをつくる
- ⑨用具の出し入れも重要な指導内容
- ⑩思いやりをほめる



# 若手教員指導の課題とは？



- ・説明や準備の時間が長く、運動時間が少なくなってしまう。
- ・運動や遊びのアイデアが少ないため、児童生徒の興味を引く活動ができない。
- ・めあてがはっきりしておらず、どのような力をつけたい授業なのかが明確でない。
- ・安全面まで気が回らずけがが多くなってしまう。





# コロナ禍における運動量の低下

---

- 臨時休業等による運動時間の減少
- 体育の授業内容の制限  
(友達との距離が近い運動等)
- スクリーンタイム※の増加

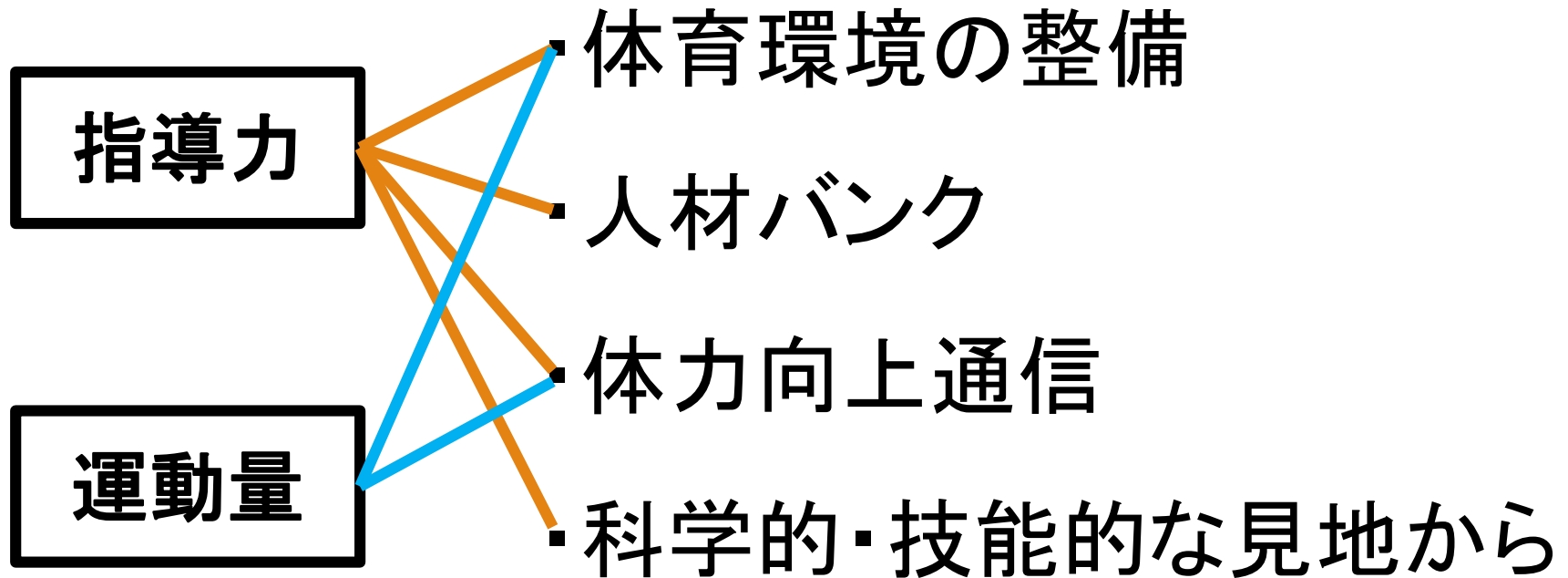
※平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による  
映像の視聴時間

- 休み時間の外遊びの制限



## 5 今後の取組

---



# 体育環境の整備

---



- ・教材・教具の整備  
(タグ・ラダー・ボール等)
- ・授業研究会の充実
- ・実技講習会の充実

# 人材バンクの活用

---

- 大崎電機ハンドボール部
- スウィンみよしスイミングスクール
- 立教大学ラグビー部 他

※アスリートなどと連携し、  
若手の指導力をカバー

# 体力向上通信



- ・目的：教職員の意欲を喚起
- ・概要：本市の体力の現状や授業づくりのポイント等について紹介
- ・対象：教育委員会⇒学校

※保護者向けの広報紙「いきいき体力」とは異なり、  
教職員向け「体力向上」に関する情報提供が中心

# 科学的・技能的な見地から ◆立教大学ラグビー部



**敏捷性**

**アジリティ(反応力)**

# 科学的・技能的な見地から ◆NTT東日本



## 教育データの利活用

多様なデータから相関を発見・  
分析(例:身長・体重・体カテスト・  
アンケート調査結果等)

⇒ 分析結果の情報提供

# 目指す成果(ゴール)



- 規律ある体育授業の実現を果たし、1時間の授業の中で運動量を70%以上確保
- 児童生徒が運動を好きになる体育授業の展開
- 外部講師から得た知識をもとに、科学的・技能的な視点からの体育授業づくり



- 運動が大好きな児童生徒の育成(生涯スポーツ)

児童生徒新体力テストの結果の向上へ



# 体力向上に向けた合言葉

---

「コツコツときたえた体は  
たからもの」

